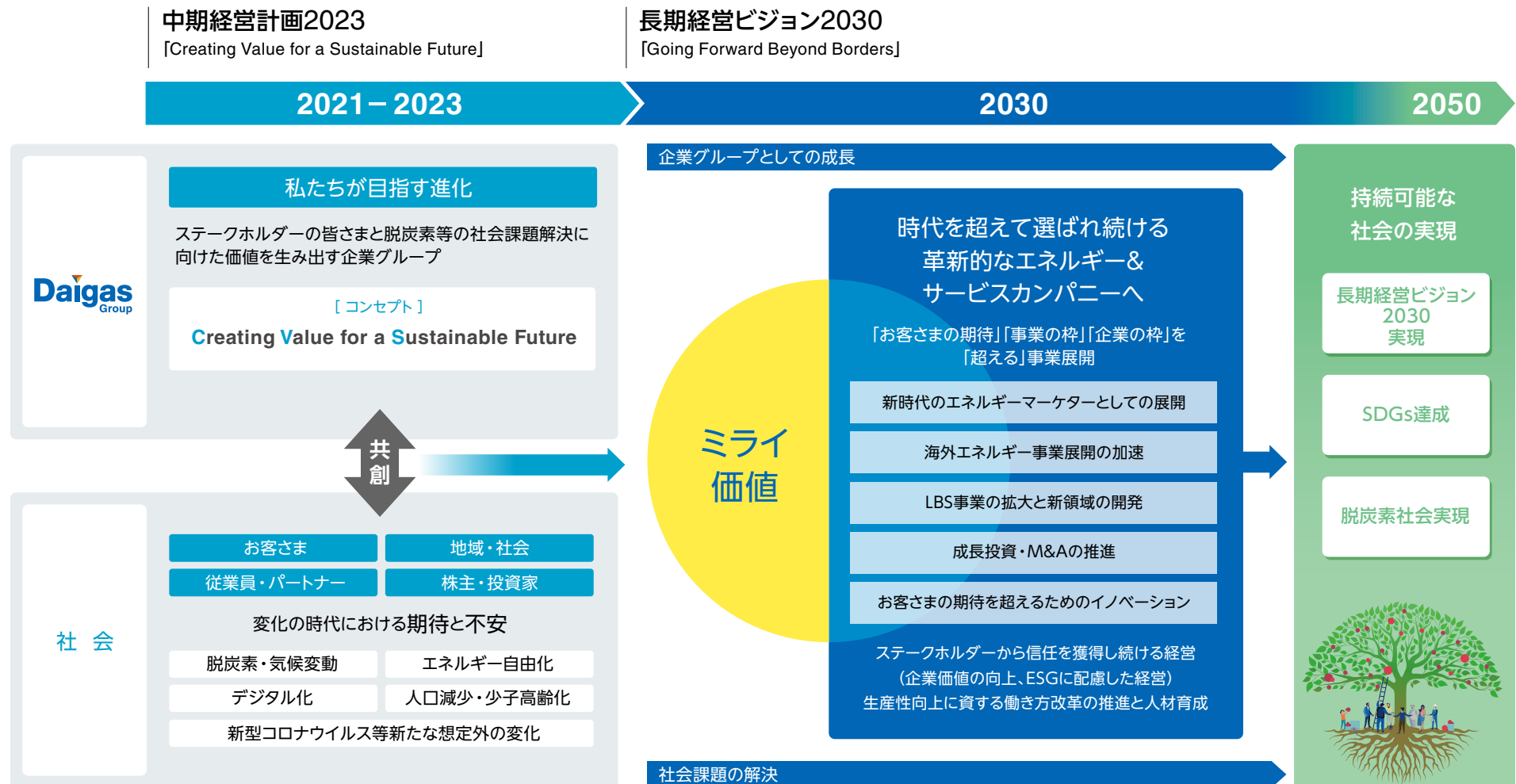


中期経営計画2023とサステナビリティ

Daigasグループは2017年に2030年度を見据えた長期経営ビジョンを策定し「時代を超えて選ばれ続ける革新的なエネルギー&サービスカンパニー」を目指すとともに、2050年のカーボンニュートラル実現を目指しています。2021年に公表した「中期経営計画2023」では、長期経営ビジョンからバックキャストし、持続可能な社会の実現に向け、社会課題の解決に資する価値を生み出す企業グループとして、ステークホルダーとともに「ミライ価値」を創造し、成長し続けていくことを目指しています。



「中期経営計画2023」策定に際し、経営指標にROICを導入するとともに、ESG経営の加速化を図るため重要側面(マテリアリティ)を新たに特定し、各指標を設定しました。マテリアリティの主要取り組み指標の実績については、□□P.20-21をご覧ください。

■ 中長期経営指標



2050年
カーボンニュートラル
実現への挑戦

Daigasグループは、気候変動対策への社会的要請の一層の高まりを受け、これまでの天然ガス利用拡大の取り組みに加えて、再生可能エネルギーや水素を利用したメタネーションなどによる都市ガス原料の脱炭素化、および再生可能エネルギー導入を軸とした電源の脱炭素化によって、2050年のカーボンニュートラル実現を目指します。また、実現に向けた取り組みを示すために「カーボンニュートラルビジョン」を2021年1月に発表しました。

本ビジョンのもと、エネルギーの低・脱炭素化への移行に向けた道筋の全体像を示すため、2023年3月には「エネルギーtransition2030 (ET2030)」を発表しました。「ET2030」では当社グループのCO₂排出量削減の2030年度目標を新たに掲げました。

「エネルギーtransition2030」の詳細については□□P.39-40をご覧ください。

※1 NOPAT(経常利益+支払利息-受取利息-法人税等)÷投下資本^{*}
 ※投下資本=(事業ユニット)運転資本+固定資産
 (グループ全体)有利子負債+自己資本(各期首・期末平均)
 有利子負債は、当社にリスクのないリース負債を除く

※2 「中期経営計画2023」に新たに設定した2030年度目標
 ※3 2023年度目標は2021年度~2023年度の累計
 ※4 2030年度目標は2017年度~2030年度の累計
 ※5 国内サプライチェーン(スコープ1・2・3)における排出量。2023年3月に新たに目標を設定
 ※6 女性取締役比率は2023年3月に新たに目標を設定